

進捗状況の概要

「みやぎ・せんだい協働教育基盤による地域高度人材の育成」事業（以下、本事業）の平成 27 年度における計画（申請書記載）と進捗状況の概要を以下に示す。

➤ 各種会議体構築、協議開始

本事業の意思決定機関であり、事業協働機関の関係者が参加する「地域協働教育推進機構機構会議」をはじめ、事業運営を担当する各部会を設置。参加大学の教職員を中心に運営を開始した。また、部会間の調整を図るため、「地域協働教育推進機構運営会議」を設置し、定期的な開催を行うことを決定している。

➤ 地域高度人材指標の検討着手

宮城教育大学を中心とした「地域高度人材指標開発・評価部会」において、事業協働機関である大学、自治体及び企業関係者間で検討を開始した。

➤ 機構所属コーディネーターの選任

COC+推進コーディネーターとして特任教員 5 名、職員 2 名を選任した。

➤ 機構事務局設置、連携機関からのコーディネーター受け入れ

東北学院大学内に事務局を設置（事業協働機関からのコーディネーター受け入れは平成 28 年度 4 月）。

➤ 単位互換コア科目、相互連携科目の準備

「教育プログラム開発部会」において、平成 28 年度開講の単位互換コア科目の準備（シラバス、教材、教員配置）を完了（平成 28 年度前期より東北学院大学から実施することを決定した。また、各大学への展開を視野に入れるとともに FD/SD を兼ねる形で授業参観[授業へのフィードバックを含む]を認めた）。また、「単位互換部会」において、各大学間で実質的な単位互換を行うための検討を開始した。

➤ 県内中学・高校に対する地域型キャリア教育実践モデルの準備

「高大連携部会」において、地域型キャリア教育実践モデルについて議論をすすめる一方、宮城県、宮城県教育委員会、宮城労働局、東北経済産業局、宮城県中小企業家同友会と「キャリア教育・志教育推進に関する覚書」に調印し、本事業と中等教育の接続をすすめることとなった。

➤ 共同キャリア支援の試行

「共同キャリア支援部会」において、共同キャリア支援の試行プログラムとして「みやぎ県南地域企業研究会」を開催し、企業 5 社、学生 89 名が参加した。

➤ FD/SD 研修会の共同実施

平成 27 年度中は実施できず。「FD/SD 部会」において、平成 28 年度からの FD/SD 研修会の実施に向けた企画検討を開始した。平成 28 年度 10 月現在で 6 回実施。

➤ 企業支援体制の確立

平成 27 年度中に「企業支援部会」を中心に、事業協働地域内の中小企業の持続性のある経営を図る上で課題となっている人材確保に対応するため、人材定着支援を含んだ「創造的インターンシップ」の試行を平成 28 年度から実施することを決定した。

➤ 事業紹介ウェブサイト、パンフレット作成

パンフレットについては、平成 27 年度中に作成し、事業協働機関を中心に配布した。また、平成 27 年度中に開設したウェブサイトでは、事業の進捗を適宜広報している。

➤ 地域協働教育シンポジウムの開催

平成 27 年度中には、開催できず。平成 28 年 10 月に開催した。